



多賀城市の中学生との交流！ 太宰府中学校をアピールできました！



10月31日（金）に、宮城県多賀城市の中学生8名と引率の先生6名の方々が、太宰府中学校に来校されました。多賀城市と太宰府市は友好都市の関係にあり、以前から市政の多くの面で協力や交流がなされてきています。その交流の1つとして、太宰府市、多賀城市それぞれの中学生の代表が互いに訪問し合っています。これを「ふるさと・夢プロジェクト」といいます。太宰府市から多賀城市へは、平成29年度から始まり、今年で7回目、多賀城市から太宰府市へは、令和元年度から始まり、今年で5回目となります。太宰府中学校への訪問は、令和元年度、4年度に続き、今年で3回目になります。午前中は3年生の各学級に2名ずつ入ってもらい、「水引き」を使ったしおりの作成をしました。難しかったようで、完成までには至らなかったようですが、本校の生徒と話がたくさんできてよかったですと多賀城市の中学生は言ってくれました。昼食は、本校の給食を食べてもらいました。東北と九州の食文化は違うので心配していましたが、おいしく食べてもらえたようです。午後は、本校生徒全員と交流してもらいました。生徒会役員による本校の紹介、多賀城市の中学生による多賀城市的紹介のあと、本校の四部合唱による校歌を披露しました。多賀城市的中学生、引率の先生からは、「四部合唱の校歌がかっこいい」「校歌を大きな声で歌っているのがすごい」「会場を盛り上げようとする気持ちが嬉しかった」などお褒めの言葉をいただきました。大声を出して盛り上げるとき、しっかりと静かに話を聞くとき、その場に応じて、どのような態度で臨むべきかを考えて行動できることは素晴らしいことです。今回のように、遠く離れた場所で生活している人と人が実際に会って交流する機会はとても貴重だと私は思います。今回の交流が、生徒のみんなにとって、忘れられない思い出になってくれることを願っています。

1年生のよいところがたくさん見えた自然教室でした。



1年生は、11月19日（水）、20日（木）の1泊2日で、海の中道青少年海の家で自然教室を行いました。実行委員が中心となって考えたスローガン「What's next? ~気づき 考え 行動しよう~」のとおり、自分で考えて行動しようとする姿がたくさん見られました。カッター教室や集団行動の披露、きもだめし、野外調理などの活動の中で、気づいて声を掛け合ってみんなで協力しようとしている姿から、1年生が成長していくことを感じました。海の家の職員の方から、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。4か月後には2年生となり、1年生の手本となる存在になります。今回の自然教室で学んだことを、これから学校生活に活かしてくれることを期待しています。

「思いやりの心」を、実際に「行動でみせる人」を誇りに思います。



11月12日（水）に、筑紫地区少年愛護連盟の善行者表彰式が開催されました。人命救助や困っている方を助ける行動を称える表彰です。本校からは、レジャー施設において水路で溺れている男児を救助した行動で1名、公園で倒れている高齢者を助けた行動で3名の生徒が表彰されました。表彰式では、小学生から高校生までの心が温まる善行が紹介されました。困っている方に気づき、助けることができる人はとても素敵です。

MITCHIZANE プラザがリニューアルしました！



令和6年度から設置された「MITCHIZANE プラザ（棚）」がついに完成しました。この棚には、先生方が作成した各教科のプリントがたくさん並んでいます。生徒の皆さんには、自分でプリントを選んで取り、家庭学習で取り組み、次の日の朝学習の時間にやり直しや復習をします。今回、この棚の設置には、学校の近くにある「大邦物産株式会社 様」からの寄付金を使わせてもらいました。地域の方が太宰府中学校のみんなを支援してくださっています。感謝の気持ちを忘れずに、しっかりと家庭学習に取り組みましょう。